

## 自殺者遺族支援へキャラバン



VIDEO

WindowsMediaPlayer ▶ 56K モデム、ISDNなど  
▶ 200K ブロードバンド

RealPlayer ▶ 56K ~ 200K

1年間に3万人を超える自殺した人の遺族をどのように支援していくか考えるため、NPOが中心となって、すべての都道府県でシンポジウムを開く初めての全国キャラバンが、ことしの春から行われることになりました。

自殺した人の遺族の支援については、去年10月に施行された自殺対策基本法で国や自治体が対策をとることが定められていますが、プライバシーなどの問題もあり、ほとんど進んでいないのが現状です。

今回の全国キャラバンでは、自殺の問題に取り組んできたNPO「自殺対策支援センターライフリンク」が中心となって、47都道府県を順に回り、地元の自治体などといっしょにシンポジウムを開きます。シンポジウムにはそれぞれの地域の遺族にも参加を求め、具体的な支援のあり方について話し合います。さらにシンポジウムに参加した遺族を中心に、心のケアをする会を都道府県ごとに立ち上げ、自殺の防止策を探るための聞き取り調査も行いたいとしています。

NPO代表の清水康之さんは「遺族にどう接していいのか戸惑っている自治体が多いので、キャラバンで関係者の連携を図り、対策の基盤を作りたい。遺族の声に耳を傾け実態を知ることが、自殺の防止策にもつながると思う」と話しています。

1月7日 17時 34分